



TITLE:

関係者往来

AUTHOR(S):

---

CITATION:

関係者往来. 東南アジア研究 1964, 2(2): 128-129

ISSUE DATE:

1964-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/54945>

RIGHT:

## 彙 報

### 東南アジア研究センター管理委員会名簿

(昭和39年10月31日現在)

委員長	農学部	小林	章
副委員長	人文科学研究所	森	鹿三
委員	文学部	井上	智勇
〃	教育学部	重松	俊明
〃	法学部	中田	淳一
〃	経済学部	堀江	英一
〃	理学部	速水	頌一郎
〃	医学部	堀井	五十雄
〃	薬学部	木村	康一
〃	工学部	藤本	武助
〃	教養部	柴田	実
〃	研究センター	岩村	忍
幹事	庶務部	住友	眩
〃	経理部	西間	木久郎

### 東南アジア研究センター常任委員会名簿

(昭和39年10月31日現在)

所長	人文科学研究 所教授	岩村	忍
常任 委員	文学部	教授	泉井久之助
〃	文学部	教授	織田 武雄 (社会科学 研究部 門主任)

〃	教育学部	教授	相良 惟一 (総務部 副主任)
〃	法学部	教授	猪木 正道 (社会科学 研究部 門副主任)
〃	経済学部	教授	堀江 保蔵 (総務部 主任)
〃	理学部	教授	芦田 譲治
〃	医学部	教授	西尾 雅七
〃	薬学部	教授	木村 康一 (自然科学 研究部 門主任)
〃	工学部	教授	滝本 清
〃	農学部	教授	四手井綱英 (自然科学 研究部 門副主任)
〃	教養部	長	柴田 実
幹事	文学部	助教授	棚瀬 襄爾
〃	農学部	助教授	本岡 武

### 東南アジア研究センター常任委員会

#### 開催日および議題

昭和39年10月6日

1. 担当教官候補について
2. 学外研究参加者について

昭和39年10月20日

1. バンコック連絡事務所運営について
2. 自然科学部門昭和40年度前期計画について
3. 後援会募金について

### 研 究 例 会 記 事 (昭和39年9月21日から10月31日まで)

年月日	講演者	題 名
10月15日	佐藤 幸治(京大・教・教授)	「Satipatthana(念処)の禅法について」
	相良 惟一(京大・教・教授)	「バンコックから帰って」
10月29日	岡 正雄(東京外国語大学 アジア・ア フリカ言語文化研究所長)	「社会・文化の変容について」

### 関 係 者 往 来 (昭和39年9月21日から10月31日まで)

	出 発	帰 国	行 先
寺 松 孝 (京大・結核研・助教授)	39.10.1	タ	イ
前 川 暢 夫 (京大・結核研・助教授)	39.10.1	タ	イ
本 岡 武 (京大・農・助教授)	39.10.12	タ	イ
築 島 謙 三 (東大・東洋文化研・講師)	39.10.20		マレーシア

相 良 惟 一 (京大・教・教授)		39. 9. 30	タ イ
棚 瀬 襄 爾 (京大・文・助教授)		39. 9. 30	マレーシア
坪 内 良 博 (京大・文・大学院)		39.10. 3	マレーシア
園 部 逸 夫 (京大・法・助教授)	39. 9. 2	39.10.28	タイ, マレーシア
森 山 徐 一 郎 (京大・工・教授)	39.10.21	39.10.29	タ イ

## 計 報

東南アジア研究センター幹事兼編集委員として御活躍中の京都大学文学部助教授、棚瀬襄爾博士は、1964年12月10日午前九時、狭心症のため逝去されました。

はからずも、本号に掲載された現地通信「マレーシア調査の現地から」が、博士の遺稿となりました。博士の御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

編 集 部

## 執 筆 者 紹 介

岩 田 慶 治	大阪市立大学・文・助教授
南 勲	京大・農・助教授
上 野 益 三	京大・理・名誉教授
石 井 米 雄	外務省・南西アジア課・外務事務官
原 田 正 春	大阪外国語大学・講師
中 田 淳 一	京大・法・教授(法学部長)
Nicholas Tarling	Professor, Department of History, Univesity of Queensland, Australia
棚 瀬 襄 爾	京大・文・助教授
飯 島 茂	京大・農・助手
水 野 浩 一	京大・東南ア研・研究員
高 木 太 郎	神戸大学・教・教授
福 島 徳 寿 郎	京大・法・教授
本 岡 武	京大・農・助教授
高 坂 正 堯	京大・法・助教授
築 島 謙 三	東京大学・東洋文化研・講師
高 木 英 明	京大・教・助手
猪 木 正 道	京大・法・教授
大 野 徹	京大・文 大学院